

水稻の生産性向上と低コスト化による組合員の利益増進へ

【類型】 水稻 + WCS

【組織名】 農事組合法人大野見野の風
(平成28年3月設立)

【所在】 高知県中土佐町大野見

【構成戸数・人数】 14戸

【経営規模（平成29年度実績）】

水稻（普通期） 1.55ha

WCS 1.82ha

作業受託作業

・ 収穫 18.56ha
・ 畔塗り 15.00ha
・ ハロー 8.26ha

・ 乾燥調製 2,882袋
・ 防除 14.69ha



設立総会にて

設立の経緯

- 中土佐町大野見地区の長野集落、榎野々集落及び三ツ又集落は、第1期中山間地域等直接支払制度を機に農業や集落の将来について話し合うようになり、平成12～13年頃、各集落に長野営農組合、榎野々営農組合、三ツ又営農組合を設立。
- 平成27年度第4期中山間地域等直接支払制度において、集落協定を合併して広域化するための検討を始め、労働力の確保・集積する農地の担い手として、既存の集落営農組織を合併して法人を設立することを決め、協議を重ね、平成28年3月に法人設立に至った。

取組の特徴・効果

- 法人設立後、集落住民の高齢化等もあり、年々、水稻の作業受託面積が増加。効率的な受託作業スケジュールの実践による法人運営を実践。
- 法人としての今後の方向性に基づき新たな機械（田植機など）を整備。
- 地域にある畜産農家との耕畜連携により、WCS（ホールクロップサイレージ）の生産に取り組む。専用品種‘たちすずか’における栽培方法の効率化や収量増加、品質向上に取り組んでいる。

【具体的な取組内容】

(農)大野見野の風活動範囲の概要			
水田	約22ha	集落戸数	約30戸
畑	約0ha	農家戸数	18戸
基盤整備率	約100%	組合参加戸数	14戸



役員会による意思決定



WCS収穫風景



WCS育苗に関する研修

【主な機械・施設】

機械名	購入年	備考
コンバイン(4条・60ps)	H29	集落営農支援事業
乾燥機(30石)	H29	集落営農支援事業
乾燥機(30石)	H29	集落営農支援事業
手押し草刈り機(3台)	H29	集落営農支援事業
田植機(6条・21.3ps)	H30	集落営農支援事業
播種機(340・420箱/時)	H30	集落営農支援事業

※その他の施設・機械は既存の2つの集落営農組織から無償借受

倉庫(3ヶ所)、コンバイン(3台)、乾燥機(8機)、穀物搬送機(2台)
 粃すり機(2台)、米選機、粗選機、ホッパー(2台)、ブリッジ、計量機
 フォークリフト(一式)、畔塗り機、トラクター

【課題・今後の取組】

- 法人としての事業戦略づくり
- 中山間地域等直接支払の協定地域で耕作放棄地を出さないようにする
- OWCSの収量・品質の改善(育苗・施肥・栽培管理etc)